

【展示物名】 里山の楽校（ビオトープ）

【該当する学年】 小3 小4 小5 **小6** 中1 中2 **中3**

【学習指導要領】 エネルギー 粒子 **生命** **地球**

<小学校6年>

(3) 生物と環境

動物や植物の生活を観察したり，資料を活用したりして調べ，生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

<中学校3年>

(7) 自然と人間

自然環境を調べ，自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに，自然と人間のかかわり方について認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。

ア 生物と環境

(ア) 自然界のつり合い

微生物の働きを調べ，植物，動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けてとらえるとともに，自然界では，これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだすこと。

【写真】



【ビオトープに棲息しているトンボの紹介】



【ビオトープのようす】

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 植栽ゾーンから湧く清水を用いて、せせらぎや湿地帯、池を配置し野生動植物が生息できるビオトープを整備している。

☆ **小学校6年「自然とともに生きる」**では、ビオトープという人工的につくった小さな生態系の見学・調査を通して、水を通した生物のつながりや、食物連鎖など、生物が他の生物と深く関わって生きていることを**体験的に学習**することができる。

☆ **中学校3年「人間と環境」**では、ビオトープの見学・調査を通して、人が昔から自然のつり合いが保たれるよう自然の恵みを利用しながら維持・管理を行ってきたことを学習し、**里山と合わせて昔の生活様式のよい点を取り入れようとする意識を高める**ことができる。